

本章では、平成23年度調査で課題のあった設問の通過率が上昇した学校の指導事例や、小・中学校が連携した特色ある取組を掲載している。

これらの取組を参考に、小学校と中学校が連携して系統的な指導を行うことが大切であるということ踏まえ、各学校において児童生徒の実態に合わせて指導内容・方法を一層工夫し、授業改善を推進していただきたい。

I 指導事例

【国語】

【小学校国語】		
課題1 「場面の移り変わりや情景の想像」		P. 58
【中学校国語】		
課題1 「登場人物の心情の把握」		P. 60
課題2 「文脈上の語句の理解」		P. 62
課題3 「文章の展開の把握」		P. 64

【算数・数学】

【小学校算数】		
課題1 「およその重さ」		P. 66
課題2 「分数の意味と表し方」		P. 68
課題3 「複合図形の面積」		P. 70
【中学校数学】		
課題1 「相対度数の意味」		P. 72
課題2 「垂直な面」		P. 74
課題3 「関係を文字式で表す」		P. 76

【英語】

【中学校英語】		
課題1 「適切な語を用いた会話文の組立」		P. 78
課題2 「話の流れの理解」		P. 80
課題3 「自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くこと」		P. 82

II 小・中学校が連携した特色ある取組

学力向上総合対策事業指定地域・指定校の取組	P. 84
-----------------------	-------